

**CASBEE-広島 2014年版**  
**(仮称)大手町マンション新築工事**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.1</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>3.2</b>
<b>1 音環境</b>		<b>4.0</b>	0.15	<b>3.4</b>	1.00			<b>3.5</b>
<b>1.1 騒音</b>		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50			
<b>1.2 遮音</b>		<b>5.0</b>	0.50	<b>3.9</b>	0.50			
1 開口部遮音性能	開口部遮音性能T-2以上を確保	5.0	1.00	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能	界壁遮音性能Dr-50を確保	-	-	4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			
<b>1.3 吸音</b>		-	-	-	-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.0</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00			<b>2.8</b>
<b>2.1 室温制御</b>		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	1.00			
1 室温		3.0	0.63	3.0	0.63			
2 外皮性能		3.0	0.38	3.0	0.38			
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-			
<b>2.2 湿度制御</b>		<b>1.0</b>	0.20	-	-			
<b>2.3 空調方式</b>		<b>1.0</b>	0.30	-	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.2</b>	0.25	<b>3.5</b>	1.00			<b>3.3</b>
<b>3.1 昼光利用</b>		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50			
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
<b>3.2 グレア対策</b>		<b>2.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50			
1 昼光制御	カーテン、庇を組み合わせて昼光を制御	2.0	1.00	4.0	1.00			
<b>3.3 照度</b>		<b>3.0</b>	0.15	-	-			
<b>3.4 照明制御</b>		<b>1.0</b>	0.25	-	-			
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.6</b>	0.25	<b>3.7</b>	1.00			<b>3.7</b>
<b>4.1 発生源対策</b>		<b>4.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.63			
1 化学汚染物質	室内に使用する建材はF☆☆☆☆を使用	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
<b>4.2 換気</b>		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.3</b>	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能	居室床面積の1/8以上開閉可能な窓を確保	-	-	4.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
<b>4.3 運用管理</b>		-	-	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		-	-	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-			<b>3.4</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.2</b>	0.40	<b>4.6</b>	1.00			<b>4.2</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		<b>1.0</b>	0.57	<b>5.0</b>	0.60			
1 広さ・収納性		-	-	-	-			
2 高度情報通信設備対応	Gbitクラスのプロードバンドが利用可能な環境を整備	-	-	5.0	1.00			
3 バリアフリー計画		1.0	1.00	-	-			
<b>1.2 心理性・快適性</b>		<b>4.0</b>	0.43	<b>4.0</b>	0.40			
1 広さ感・景観	居室の天井高CH=2,550以上確保	-	-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
3 内装計画	商品サンプルを取寄せたり、写真パース等を用いての事前検証	4.0	1.00	4.0	0.50			
<b>1.3 維持管理</b>		-	-	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		-	-	-	-			
2 維持管理用機能の確保		-	-	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.9</b>	0.30	-	-			<b>2.9</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>		<b>3.0</b>	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		<b>3.2</b>	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	評価基準(平成18年国交省告示380号)等級3以上	5.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性				<b>2.4</b>	0.20	-	-	
1	空調・換気設備			1.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備			2.0	0.20	-	-	
3	電気設備			3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備			3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				<b>3.8</b>	0.30	<b>2.6</b>	1.00	<b>2.7</b>
3.1 空間のゆとり				-	-	<b>3.2</b>	0.50	
1	階高のゆとり	階高を2,960~3,500確保		3.0	-	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ			-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				-	-	<b>2.0</b>	0.50	
3.3 設備の更新性				<b>3.8</b>	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性	天井スペースの確保		4.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	構造部材を痛める事無く修繕、更新できる		4.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	構造部材、仕上材を痛める事無く修繕、更新できる		5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	仕上げ材を痛める事無く修繕、更新できる		5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.6</b>
1 生物環境の保全と創出				<b>1.0</b>	0.30	-	-	<b>1.0</b>
2 まちなみ・景観への配慮		広島市景観計画に基づいて配慮した		<b>4.0</b>	0.40	-	-	<b>4.0</b>
3 地域性・アメニティへの配慮				<b>2.5</b>	0.30	-	-	<b>2.5</b>
3.1	地域性への配慮、快適性の向上			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上			<b>2.0</b>	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	<b>3.1</b>
LR1 エネルギー				-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.6</b>
1 建物外皮の熱負荷抑制				<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
2 自然エネルギー利用				<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) 0.42		<b>4.3</b>	0.50	-	-	<b>4.3</b>
集合住宅以外の評価(3a.3b)				1.0	-	-	-	
集合住宅の評価(3c)		LED照明の採用		4.3	1.00	-	-	
4 効率的運用				<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価				-	-	-	-	
4.1	モニタリング			-	-	-	-	
4.2	運用管理体制			-	-	-	-	
集合住宅の評価				<b>3.0</b>	1.00	-	-	
4.1	モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.9</b>
1 水資源保護				<b>3.4</b>	0.20	-	-	<b>3.4</b>
1.1 節水		節水器具の設置		<b>4.0</b>	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				<b>2.8</b>	0.60	-	-	<b>2.8</b>
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-		3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-		3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				<b>3.0</b>	0.70	-	-	
1	消火剤			-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)			3.0	1.00	-	-	
3	冷媒			-	-	-	-	
LR3 敷地外環境				-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.8</b>
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出量の削減		<b>3.8</b>	0.33	-	-	<b>3.8</b>
2 地域環境への配慮				<b>1.8</b>	0.33	-	-	<b>1.8</b>
2.1 大気汚染防止				<b>3.0</b>	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				<b>1.0</b>	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				<b>2.5</b>	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減			-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制			-	-	-	-	
3	交通負荷抑制			3.0	0.50	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.50	-	-	
3 周辺環境への配慮				<b>2.8</b>	0.33	-	-	<b>2.8</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音			3.0	1.00	-	-	
2	振動			-	-	-	-	
3	悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				<b>1.6</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制			1.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制			1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				<b>5.0</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	照明は計画的に配置し、周辺環境に適した明かりとする		5.0	1.00	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			-	-	-	-	